事務事業調書	No	699	課 名	学校教育課	起 案 者	杉浦雅弓
平成23年度			係 名	学事係	決 裁 者	杉山春記
事 業 種 別	市民サービス		区 分	継続	業務一覧No	7
事務事業名	部活動支援事業・小中学生各種大会派遣事業				他 係名	
					他係 業務一覧No	

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 3 学校教育 2 義務教育 2 豊かな心とたくましい体を育む教育 2 基礎体力の向上をめざす教育	予算科目(会計)	一般会計
		予算科目(款・項・目)	50-5-15
		総合計画以外の計画	
		関連する総合計画の施策	
性質区分	市の内部事務事業	法定受託事務	無
根拠法令	有	補助金交付要綱(大会派遣、団体登録料、指導事業)	
実施方法	直営	委託先	
実施期間	開 始 平成元年度	経 過 22年目	終 了 期 間
公約・議会答弁	無		
陳情・市民要望	無		

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	児童生徒が	～になる	充実した部活動を行う。
事務事業の内容	部活動の振興を図るため、部活動指導者に対する報酬及び各競技団体への登録費用を補助します。また、各種大会への児童生徒の派遣費用も補助し、学校教育における文化体育活動を奨励するとともに、保護者負担の軽減を図ります。			
事務事業進捗状況	大会派遣補助人数 平成19年度 中学校4,846名 小学校519名 平成20年度 中学校4,608名 小学校621名 平成21年度 中学校3,677名 小学校409名 平成22年度 中学校4,971名 小学校415名			
改善・対策の履歴	平成２０年度、団体登録料の補助金について補助基準を設け、公平性に配慮しました。			
環境配慮の視点	環境目標○－基本的施策○－具体的施策○			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

	項 目		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度
			目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)
コスト	総事業費 f=a+d+e		13,114	11,120	11,968	10,618	10,962	11,472	10,962
	財 源 計 a		11,984	9,990	10,838	9,488	9,832	10,342	9,832
	財源の内訳	国 庫 支 出 金	350	250	250	0	0	0	0
		県 支 出 金	0	0	0	151	151	99	99
		市 債	0	0	0	0	0	0	0
		その他( )	0	0	0	0	0	0	0
		一 般 財 源	11,634	9,740	10,588	9,337	9,681	10,243	9,733
	受 益 者 負 担 金		0	0	0	0	0	0	0
	職 員 人 件 費 d		1,130	1,130	1,130	1,130	1,130	1,130	1,130
	内 訳	従 事 職 員 数	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
	人事課予算分人件費 e		0	0	0	0	0	0	0

4 求める成果を得るための活動

				年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動	活動①	活動名（活動内容）	児童生徒の大会派遣	見込(単位)	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00
				実績b(単位)	5,229.00	4,086.00	5,386.00	
		指標名(単位)	派遣人数((人))	活動の総事業費f 実績	6,338	6,067	6,854	
				単位コストg=f÷b 実績	1.21	1.48	1.27	
	活動②	活動名（活動内容）	部活動への指導者の配置	見込(単位)	7,700.00	7,700.00	7,060.00	7,060.00
				実績b(単位)	7,700.00	7,400.00	7,060.00	
		指標名(単位)	指導者等従事時間数(時間)	活動の総事業費f 実績	3,925	3,775	3,605	
				単位コストg=f÷b 実績	0.51	0.51	0.51	
	活動③	活動名（活動内容）	各競技団体への加盟登録	見込(単位)	120.00	90.00	66.00	85.00
				実績b(単位)	81.00	66.00	85.00	
		指標名(単位)	登録件数(件)	活動の総事業費f 実績	856	593	759	
				単位コストg=f÷b 実績	10.57	8.99	8.93	

5（1） 成果の目標と実績

		指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
成果	成果1	中学における体力章受領者の割合(%)	見込(単位)	13.00	13.20	13.20	13.20
			実績(単位)	16.30	13.60	14.00	
			達成状況	達成	達成	達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			
	成果2	指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		中学校で部活動する生徒の割合(%)	見込(単位)	98.00	98.00	98.00	98.00
			実績(単位)	97.80	97.60	98.50	
			達成状況	未達成	未達成	達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			

5（2） 成果１、２以外の成果

	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
成果	特にありません。

6 単位コストと成果の分析

	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
分析	単位コスト	【外部要因】・全国大会への派遣費用は開催地(遠方で宿泊費・交通費が嵩む場合)によって、大きく変わります。・県外への大会参加は、その年の成績によって左右されます。
	成果1，2	・部活動へ配置した指導者の熱心な指導及び児童生徒の意欲が成績に表れました。・好成績を上げている学校については、その持続・維持のための取組みがなされていました。

7 所属長の改善案

	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する
改善	・各種大会及びコンクールへの参加状況や成果・成績等を各学校のＨＰで積極的に紹介・アピールしていきます。・小学生の大会派遣に係る保護者負担率を固定化していきます。(補助率の設定)

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	授業では得がたい経験により、豊かな心とたくましい体を育むことができるため、現状のまま継続すべきです。